

2022年12月28日

報道関係者各位

東和薬品株式会社

メトホルミン塩酸塩錠 250mgMT/500mgMT「トーフ」の 「効能又は効果」「用法及び用量」の追加承認取得のお知らせ

東和薬品株式会社（本社：大阪府門真市、代表取締役社長：吉田逸郎）は、メトホルミン塩酸塩錠 250mgMT/500mgMT「トーフ」の「効能又は効果」「用法及び用量」の追加が、本日 12 月 28 日付で承認されましたので、お知らせいたします。

これにより、先発医薬品（メトグルコ錠 250mg/500mg）との適応不一致が解消されます。

《追加内容》

メトホルミン塩酸塩錠 250mgMT/500mgMT「トーフ」

効能又は効果 (下線部追記)	<p>○2 型糖尿病 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る。</p> <p>(1) 食事療法・運動療法のみ</p> <p>(2) 食事療法・運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用</p> <p>○多嚢胞性卵巣症候群における排卵誘発、多嚢胞性卵巣症候群の生殖補助医療における調節卵巣刺激</p> <p>ただし、肥満、耐糖能異常、又はインスリン抵抗性のいずれかを呈する患者に限る。</p>
用法及び用量 (下線部追記)	<p>〈2 型糖尿病〉 通常、成人にはメトホルミン塩酸塩として 1 日 500mg より開始し、1 日 2～3 回に分割して食直前又は食後に経口投与する。維持量は効果を観察しながら決めるが、通常 1 日 750～1500mg とする。なお、患者の状態により適宜増減するが、1 日最高投与量は 2250mg までとする。</p> <p>通常、10 歳以上の小児にはメトホルミン塩酸塩として 1 日 500mg より開始し、1 日 2～3 回に分割して食直前又は食後に経口投与する。維持量は効果を観察しながら決めるが、通常 1 日 500～1500mg とする。なお、患者の状態により適宜増減するが、1 日最高投与量は 2000mg までとする。</p> <p>〈多嚢胞性卵巣症候群における排卵誘発〉 他の排卵誘発薬との併用で、通常、メトホルミン塩酸塩として 500mg の 1 日 1 回経口投与より開始する。患者の忍容性を確認しながら増量し、1 日投与量として 1500mg を超えない範囲で、1 日 2～3 回に分割して経口投与する。なお、本剤は排卵までに中止する。</p>



	<p>〈多嚢胞性卵巣症候群の生殖補助医療における調節卵巣刺激〉 他の卵巣刺激薬との併用で、通常、メトホルミン塩酸塩として 500mg の 1 日 1 回経口投与より開始する。患者の忍容性を確認しながら増量し、1 日投与量として 1500mg を超えない範囲で、1 日 2～3 回に分割して経口投与する。なお、本剤は採卵までに中止する。</p>
--	---

以上

〈お問い合わせ先〉

東和薬品株式会社 広報・IR部

〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号

TEL: 06-6900-9102 / FAX: 06-7177-4960 E-mail: kouhou@towayakuhin.co.jp